

令和2年度 老人福祉センター/高齢者ふれあいセンター/ 地域高齢者交流サロン指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和元年度

施設のサービス水準の視点 コメント

指定管理期間が平成31年度から令和3年度までであり、今年度が最初の年度であった。
新しい事業等を実施し、地域の高齢者が気軽に利用できる環境を整え、利用者にとって魅力的な施設となるように取り組んでいると考える。
今後、利用者が増加するよう、新たなレクリエーション等を実施し、より一層サービスの向上に努められたい。

収支状況 コメント

収支状況については、概ね適正に行っていたと考える。施設の修繕等も発生したが、市と調整を行い、適正に対応していたものとする。

市による総合評価 コメント

新型コロナウイルスの影響で3月4日から3月31日まで臨時休館となったが、その期間を除けば、ふれあいセンターの利用者が増加に転じている。老人福祉センター及び交流サロンについては横ばいとなっているため、来年度以降の取り組みに期待したい。
高齢者の健康増進や教養向上等のために様々な事業を実施し、高齢者の福祉に寄与していたと評価することから、概ね協定事項の水準どおり施設運営がされていると判断し総合評価を「B」とする

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった